主な記事
２・３面　都本部第73回定期大会　質疑答弁
４面　2024春闘交渉結果
私のおすすめ（東京国保労組　執行委員長　陳野　聡）
労働組合参画に対する意識調査アンケート

自治労東京

千代田区飯田橋3丁目9番3号
SKプラザ4階
電話 03-3556-3755
自治労東京都本部 企画総務局 発行
責任者　松村　誠治
編集者　須﨑　崇文
1部10円（但し組合員は組合費に含む）

都本部第73回定期大会

組合員の「声」を起点に 単組活動の活性化、組織強化

2024年度運動方針を確立

都本部は3月9日、第73回定期大会を連合会館で開催し、代議員148人（うち女性32人）が参加した。代議員は対面参加、傍聴者は対面とウェブ配信併用とした。2024年度運動方針（案）、「第6次組織強化・拡大のための推進計画」を受けた都本部の取り組み方針（案）を含む6つの議案を提案し、質疑応答を経て、すべての議案が賛成多数で可決された。

▲議案採決の後、松村委員長の呼びかけによる団結がんばろう

大会議長に萩原崇氏代議員（東京清掃労組）、高倉広志代議員（環境サービス労組）を選出した。主催者挨拶で松村委員長は、「能登半島地震において亡くなられた方に哀悼の意を表し、被害に合われた皆様にお見舞いを申し上げる」と述べ、災害カンパへの組合員の協力の感謝と被災地への連帯、必要な取り組みを進めることを述べた。そして2024春闘と現在の政治の問題について触れながら、第2号議案でも提起される喫緊の課題である組織強化・拡大について、「全ての活動の根幹となるのは組織の強さだ。新規採用者加入率の低下や、脱退などによる組合員の減少が続いている。停滞した単組活動を再び活性化させ、組織強化を図っていくことが喫緊の課題だ。組合員の課題や悩みを集め、現場からの要求を当局にしっかりと伝えるという日常的な単組活動を展開しながら、職場の課題を解決していくことで、職場のルールや環境は自分たちで作れる、自分たちで変えられるのだという意識を持てるように取り組みを進める。今こそ組織を強める具体的な取り組みのスタートの時としなければならない」と述べた。

9点の重点課題

議案審議では、2024年度運動方針（案）、「第6次組織強化・拡大のための推進計画」を受けた都本部の取り組み方針（案）など、6議案について議論。

運動方針では、9つの重点課題を掲げ、組合員の「声」を起点とした運動の構築、単組活動の活性化と「伴走役」としての都本部機能の向上に注力する。都本部が単組に足を運び「対話」を重ねることで、日常の単組課題を共有し、単組の課題解決にむけてともに取り組む。単組の状況は多岐に渡る中、新規採用者の組織化や途中退職者の増加、新たな役員の担い手不足など、共通した課題も明らかとなっている。単組への新たな助成金制度をはじめとして、こうした状況の解決に資する積極的な支援を行っていく。そして、衆議院の解散も現実味を増す中、2025年には参議院議員選挙が控えている。参院選にむけた取り組みは、私たちの求める政策を実現させるため、極めて重要な闘いとなることから、自治労組織内候補「岸まきこ」の必勝にむけ、組合員への周知を強化する。

第2号議案では自治労本部の「第6次組織強化・拡大のための推進計画」を受け、喫緊の課題である組織強化・拡大にむけて、4年間（2024～27）を本計画の期間として第5次の取り組みを総括し、「具体的行動を起こすスタート地点」として位置付ける。単組活動が低調となっている現状を踏まえ、「単組活動の『再』活性化」を4年間の組織課題の中心とし、「単組の強化・底上げと組織率の向上」に力を入れていく。単組機能を高めるためには、「組合員の幅広い声を集め、それを要求に繋げる」ということが不可欠だ。組合員のニーズや不満を把握し、課題解決の機能を強化する。また、従来の活動を幅広い視点で見直し、「組合員から共感される活動」を模索しながら、積極的に実行していくことで、組合員の運動への参画を進め、新たな担い手の発掘も進めていく。こうしたことを実行するための都本部財源を確保した上で、組織強化・拡大にむけて単組活動の「再」活性化に全力で取り組む。当日と事前質疑を合わせ、14単組から質疑・発言があった。その後の執行部答弁を経て、すべての議案が賛成多数で可決された。（質疑詳細は2面参照）

新たな仲間が加わる

第5号議案では新規組合の加盟が承認された。新たに加入したのは北区の「ふくし保育園ユニオン」の仲間の皆さん。保育士の皆さんで構成される同ユニオンの荒川委員長は、「ストレスの多い職場で過酷な労働状況、大きなストレスや悩みを抱えている人も多い。そうした職員の気持ちに寄り添う組合を作りたくて結成した。よろしくお願いします」と述べ、会場からは歓迎の拍手が送られた。

▲新規加盟したふくし保育園ユニオンの皆さん

新しい仲間のみなさまへ！

ひとりで悩まず、労働組合へ気軽に相談を

自治労東京都本部
中央執行委員長
松村　誠治

新しく採用された仲間のみなさん、ご就職おめでとうございます。

これから、ともに働く「かけがえのない仲間」として心より歓迎いたします。

晴れて自治体職員となられたみなさんは、地域住民に密接に関わりながら、住民の暮らしを支える自治体の仕事に、期待が膨らむ一方で、少し不安も抱えているのではないでしょうか。でも、心配しなくて大丈夫です。初めての仕事や新しい職場は、新採でなくても悩んだり迷ったりするのは当然です。むしろ、その方が自然で、誰だってそれは同じだと思います。労働組合への加入は、お互いが助け合い・支え合いながら成長できる、暖かい職場づくりのスタートラインです。

労働組合の役割は、職場のあらゆる問題を解決しながら、身近な労働条件を改善し、働きやすい職場を作ることです。今ある労働条件も、自動的に与えられたものではなく、先輩方が、粘り強く交渉した結果の賜物です。

もし、働いていく上で何か「おかしい」と感じたら、そんな時こそ労働組合の出番です。どんな小さな悩みや、要望でもかまいません。ひとりで悩まず、身近な労働組合へ気軽に相談してください。決して「仕事だから仕方ない」、「やっぱり自分が悪いのかな」、「自分に能力がないから仕方がない」などと自己解決しないでください。安心して働くことができる職場環境で、やりがいのある仕事ができるよう、解決にむけてきっと力になってくれると思います。

私たち労働組合は、組合員一人ひとりの「声」に基づいて活動しています。これからも、まじめに働く皆さんに寄り添い「自治労の組合員で良かった」と実感していただけるよう、「必ずそばにいる存在」として、新人職員のみなさんを応援します。

自治労組織内候補

岸　まきこ

東奔西走

先日都本部の定期大会が終わり、運動方針等が承認され、欠員だった執行部の体制も整った▼昨年度は私事ではあるが、自治労運動でお世話になった方々が、上部団体に引き抜かれたり、退職や転職をされた。また組合員も定年延長があるとはいえ、退職される方や転職等で3月は別れの時期である。お世話になった方々や組合員と別れるのは、万感の思いである▼翌4月は、人事異動や新規採用など今度は新たな出会いの時期である。新たなる門出や新たな仲間との出会いは、楽しみである▼都本部も新たなる取組みを開始する。第6次組織強化・拡大のための推進計画である。職場での仲間づくりを強化・拡大し労働組合の組織を維持・強化していく取り組みである。労働組合がある組織は、自分たちが働くうえでのルールや環境は自分たちで変えることができることを、新たに出会う仲間に認識し、自治労運動に結集・参加していただき、要求実現のためにともに闘っていこう！（大塚）

視覚障害その他の理由で活字のままで利用できない人のために、営利を目的とする場合を除き「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等の制作をすることを認めます。その際には自治労東京都本部までご連絡ください。